



1. 40階ホテルレストラン 2. 4階小学校グラウンド 3. ガレリア 4. 地下2階バスターミナル

東京ミッドタウン八重洲として、中央区の公立小学校が組み込まれていることが驚きだ。再開発のなかで、オフィスや商業に、八重洲地下街との連続性を生み出すことに成功している。

東京駅の正面側ではなく、少し静寂感がある裏側の通りから子どもたちは登校する。教室では、周辺の喧騒を感じさせない落ち着いた環境のなかで、元気いっぱい勉強している子どもたちの姿を見ることができた。校庭や体育館、プールなども整備されており、学習環境としては申し分ない。更に、オフィスに入室している企業との交流で、いち早く社会に触れる機会も設けられており、このような学校で育った子どもたちの将来が楽しみである。

もう一つ、ラグジュアリーホテルが高層部に設けられているが、これだけ複層する動線の隙間を縫って、質を保ったアプローチ空間を演出するのは難しいが、見事にそれが解かれており、迷うことなく別世界へ導かれていく。最上階のバーでは、東京駅からの風景を楽しみながら、ゆっくりと過ごせ、ミッドタウン八重洲としての魅力の向上が図られていた。

東京ミッドタウン八重洲 概要

- 所在地 東京都中央区八重洲2-2-1、2-1-4
- 建築主 八重洲二丁目北地区市街地再開発組合、三井不動産(株)
- 設計者 (株)日本設計、(株)竹中工務店
- 施工者 (株)竹中工務店
- 竣工日 2022年8月31日

- 敷地面積 13,434㎡
- 建築面積 11,619㎡
- 延床面積 289,734㎡

- 階数 地上45階、地下4階、塔屋2階
- 構造 地上：鉄骨造、一部コンクリート充填鋼管造
地下：鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造



詳細や他の写真などは
左記の二次元コードから
Webページにアクセスして
ご覧ください。

《日建連表彰2024 第65回BCS賞受賞作品》 石川県立図書館／エスコンフィールドHOKKAIDO／Otemachi One／OKI本庄工場H1棟／春日台センターセンター／京都東山計画(山荘 京大和・パーク ハイアット 京都)／高槻城公園芸術文化劇場／東京ミッドタウン八重洲／ところざわサクラタウン／那須塩原市図書館 みるる／福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館／MIYASHITA PARK／明治大学創立140周年記念 和泉ラーニングスクエア／屋島山上交流拠点施設「やしまーる」／読売テレビ新社屋



日建連表彰2024



第65回BCS賞

東京ミッドタウン八重洲

選定理由 【選考委員】
陶器浩一・宮崎 浩・松村正人

八重洲は江戸時代、様々な職人が集う「クラフトマンシップ」にあふれる街であった。一九一四年に東京駅が開業し、八重洲口が開設され、日本の玄関口、経済成長の中心地として栄えてきた。バブルが崩壊し戦後六〇年が経過した、今から約二〇年前、この地における新たなまちづくりの勉強会がスタートした。東京駅の正面に位置しながら、どこか下町風情の残る街を再生させるため、複層する周辺地域とのネットワークを一つひとつ紐解き、結びなおすことで新たな街の結節点をつくり出すための議論が積み重ねられてきた。

特に、バスターミナルの配置については数多くの検討がなされ、最終的に地下二階に配置したことで、地方への交通ネットワークの起点が再

BCS賞

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2024年で65回を数えました。